※令和４年度以降入学生用

学校番号	325

令和５年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育男子 （柔道）	単位 数	１単位	年次	１年次 （必）
使用教科書	「現代高等保健体育」　（大修館書店）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・武道に主体的に取り組むこと。
・相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にすること。
・役割を積極的に引き受け、自己の責任を果たそうとすること。
・相手の多様な動きに応じた基本動作から、技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、得意技を用いた攻防を展開すること

２　学習の到達目標

・柔道の特性や相手に対応した動きの重要性、安全性について知識・技能を理解できるようになる。
・各々の課題に対応した改善策を考えたり、仲間とのコミュニケーションを通じて思考力・判断力・表現力を養い、効率的な方法を考えたりすることができるようになる。
・相手を敬い、礼節の態度をもって、積極的に取り組むことができるようになる。健康・安全に留意して学びにむかう態度を身につけ運動を習慣化する

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	柔道の特性に応じた運動の技能を身につけ、相手の動きに対応した攻防を展開できる。 柔道の特性や伝統的な考え方、柔道を安全に行うための方法を理解している。	柔道の運動課題に応じた練習などを工夫することができる。 班活動などを通じて、適切な練習計画を立案し、技能の改善に活かせるようにする。	柔道の楽しさを積極的に味わい、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする。 自己の責任を果たし、健康、安全を確保して自主的に取り組もうとしている
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	体つくり、導入	・オリエンテーション 授業の流れ 授業における注意事項 安全の確保について ・体つくり 身体をほぐす運動 体力を高める運動 ・導入 道着の着かた 礼法について 受身の基本	a:　柔道の礼法、受身などの基本動作ができる。伝統的な考え方や柔道を安全に行うための方法を理解している。 b:　自己の課題に応じた取り組みをしている。 c:　柔道についての理解を深め、相手を尊重し、安全を確保した行動を自主的にとろうとしている。	実技テスト	授業態度の観察 実技テスト	授業態度の観察
2学期	受身、抑え技	・受身 後ろ受身 横受身 前回り受身 ・抑え技 基本動作	a:　身に付けた基本動作を正確におこなうことができる。伝統的な考え方や柔道を安全に行うための方法を理解している。 b:　課題の達成状況に応じた取り組み方をしている。 c:　柔道の楽しさを味わい、相手を尊重し、安全を確保した行動をとり、積極的に取り組もうとしている。	実技テスト	授業態度の観察 実技テスト	授業態度の観察
3学期	受身、抑え技	・受身 対人での受身 ・抑え技 技の連携 試合	a:　身に付けた技を試合で使い、相手との攻防が展開できる。伝統的な考え方や柔道を安全に行うための方法を理解している。 b:　自分に合った技を選び、得意技として使えるよう練習方法を選択している。 c:　練習や試合で仲間と切磋琢磨しようとしている。	実技テスト 試合状況観察	授業態度の観察 実技テスト	授業態度の観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度